



最新情報 I 新訂版

太成学院大学 教授
九州工業大学 名誉教授
西野 和典

本書「最新シリーズ」は、実教出版のスタンダードな教科書として、長年多くの高校でご使用いただいておりますが、この度、さらに生徒が学びやすく理解が深まるように改訂しました。

1. 改訂の内容

- (1) 改訂前の『最新情報 I』の特徴を引き継ぎ、本文（知識・技能の理解）→例題（知識・技能の活用）→確認問題（知識・技能の定着・深化）をバランスよく配置した。
- (2) 大学入学共通テストに対応して、学習内容を充実させるとともに、章末問題に加えて巻末に章を跨いだ総合問題や対話型の発展課題（Discussion）を追加した。
- (3) 学習内容は、表1に示すように、「問題解決」を1章に移すなど学習指導要領の配列に揃えた。
- (4) プログラミングは、PythonとVBAのどちらかを選択して学べるように、節に分けて掲載した。

表1 本書の章立て（ ）内は配当ページ数

1 情報社会と問題解決 (30)
2 コミュニケーションと情報デザイン (34)
3 情報のデジタル化とコンピュータ (30)
4 アルゴリズムとプログラミング (30) (PythonあるいはVBAを選択可)
5 情報通信ネットワークとセキュリティ (28)
6 データの活用とシミュレーション (34)
巻末資料：総合問題、Discussion（生成AIと著作権者の権利など3テーマ）、プログラミング言語の比較ほか (25)

2. 教科書の構成

一つの学習項目を見開き2ページあるいは4ページでまとめ、学習項目ごとに次のように展開して授業や自学自習を行いやすくしている。

- ① リード文（学習のねらいを提示）
問いかけを行い、学習を誘導する。
- ② 本文（学習内容を説明）
図表やイラストをふんだんに使って、学習内容に関する理解を促進する。
- ③ 例題（本文で学んだ内容を活用した課題解決）
身近な課題を扱い、思考・判断・表現する活動を通じて知識・技能を定着させる。
- ④ 発展（側注や確認問題で理解や思考を深化）
側注で、本文の補足説明のほか、「+α」や「ルール」のタグを付けて少し発展的な内容を掲載している。さらに、本文で学んだ内容を生活の目線で捉え直して深めることができるように「生活とのつながり」や「参考」を新設した。

3. その他の工夫点

- (1) 関連する学習とのつながりを意識できるよう本文にアイコンを付して、その学習内容と、中学校での学習とのつながり、他教科（数学、社会、国語等）や本書の他ページとつながりがあることを示し、他の学習内容と関連付けて理解を促進できるように工夫した。
- (2) 各節ごとにQRコードを配置し、教科書の内容を補足する動画やアニメーション、資料（PDF）、Webページ、シミュレーションのコンテンツなどを操作・閲覧できるように工夫した。
- (3) 右ページの上部に「いまどこ？マップ」を掲載し、開いたページの前後の内容や、学習のキーワードを一目で確認できるように工夫した。今後、本書の指導書や対応する教材（学習ノートなど）、年間学習指導計画、観点別評価表などを作成・提供し、『最新情報 I 新訂版』の教えやすく学びやすい環境づくりに努めます。